

2023年度 第1四半期 決算

I. 2023年度 第1四半期 決算概要

II. 2023年度 連結業績予想

III. 補足資料

シャープ株式会社

2023年8月4日

- ・ 本日はご多忙な中、ご参加頂き ありがとうございます。
また、日頃は、当社の広報活動・IR活動にご協力頂き、
まことにありがとうございます。
- ・ それでは、パワーポイント資料に沿って、ご説明いたします。

連結業績概要

- ・ 2023年度 第1四半期の売上高は、エレクトロニックデバイスが増収となったものの、その他の4セグメントが減収となり、前年同期を下回る。
- ・ 営業利益・経常利益、最終利益は、前年同期比では下回ったものの、2022年度 第4四半期比では大幅に改善。
- ・ 業績が想定線で進捗していることから、通期の業績予想は据え置き、引き続き、通期での最終利益の黒字化に取り組む。

あわせて、中長期的な事業の拡大に向け、新規事業の早期具体化や事業変革の加速、ブランド事業を主軸とした事業構造の構築を進める。

SHARP

1

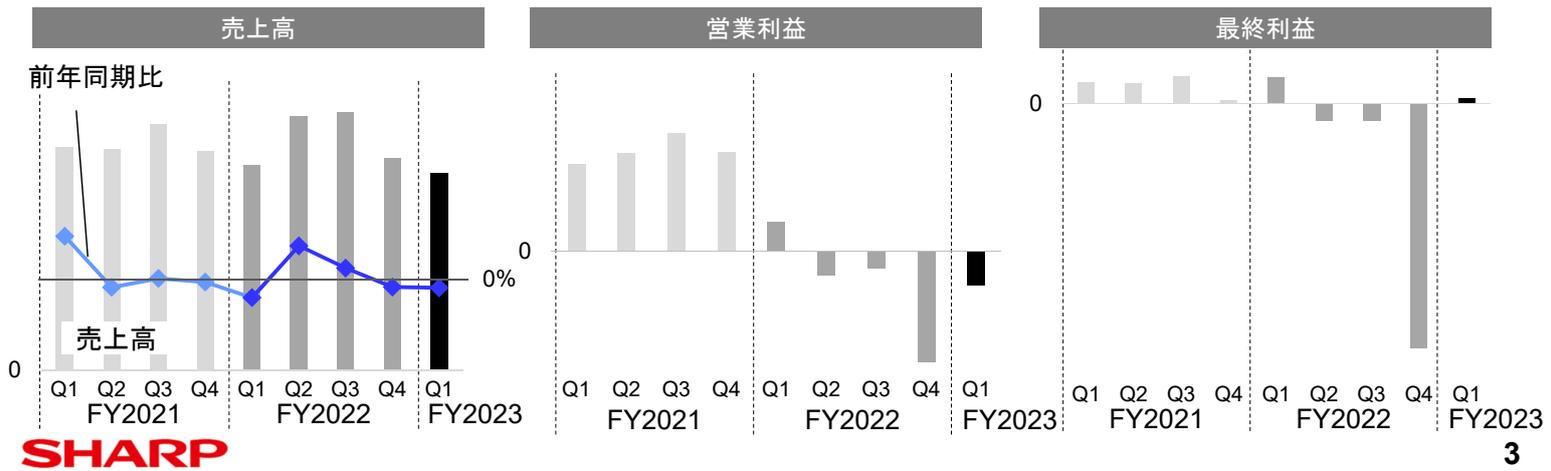
- ・ まずは、連結業績の概要です。
 - ・ 2023年度 第1四半期の売上高は、エレクトロニックデバイスが増収となったものの、その他の4セグメントが減収となり、前年同期を下回りました。
- 営業利益・経常利益・最終利益は、前年同期比では下回ったものの2022年度 第4四半期比では大幅に改善しております。
- ・ これまで業績が想定線で進捗していることから、通期の業績予想は期初の数値を据え置き、引き続き、通期での最終利益の黒字化に取り組んでまいります。
- あわせて、中長期的な事業の拡大に向け、新規事業の早期具体化や事業変革の加速、ブランド事業を主軸とした事業構造の構築を進めてまいります。

I . 2023年度 第1四半期 連結業績概要

- ・ それでは、2023年度 第1四半期の実績について、ご説明させていただきます。

2023年度 第1四半期 連結業績概要

(単位:十億円)	2022年度				2023年度	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	前年比
売上高	562.1	695.8	709.0	581.0	541.2	-3.7%
営業利益	6.1 (1.1%)	-5.0 (-0.7%)	-3.5 (-0.5%)	-23.1 (-4.0%)	-7.0 (-1.3%)	-
経常利益	17.4 (3.1%)	-8.2 (-1.2%)	-11.0 (-1.6%)	-28.6 (-4.9%)	-0.5 (-0.1%)	-
最終利益	26.9 (4.8%)	-17.4 (-2.5%)	-18.4 (-2.6%)	-251.8 (-43.3%)	5.5 (1.0%)	-79.5%
平均為替レート						
ドル円	128.57	137.38	140.60	131.35	137.37	
ユーロ円	136.60	137.84	142.81	140.60	149.46	



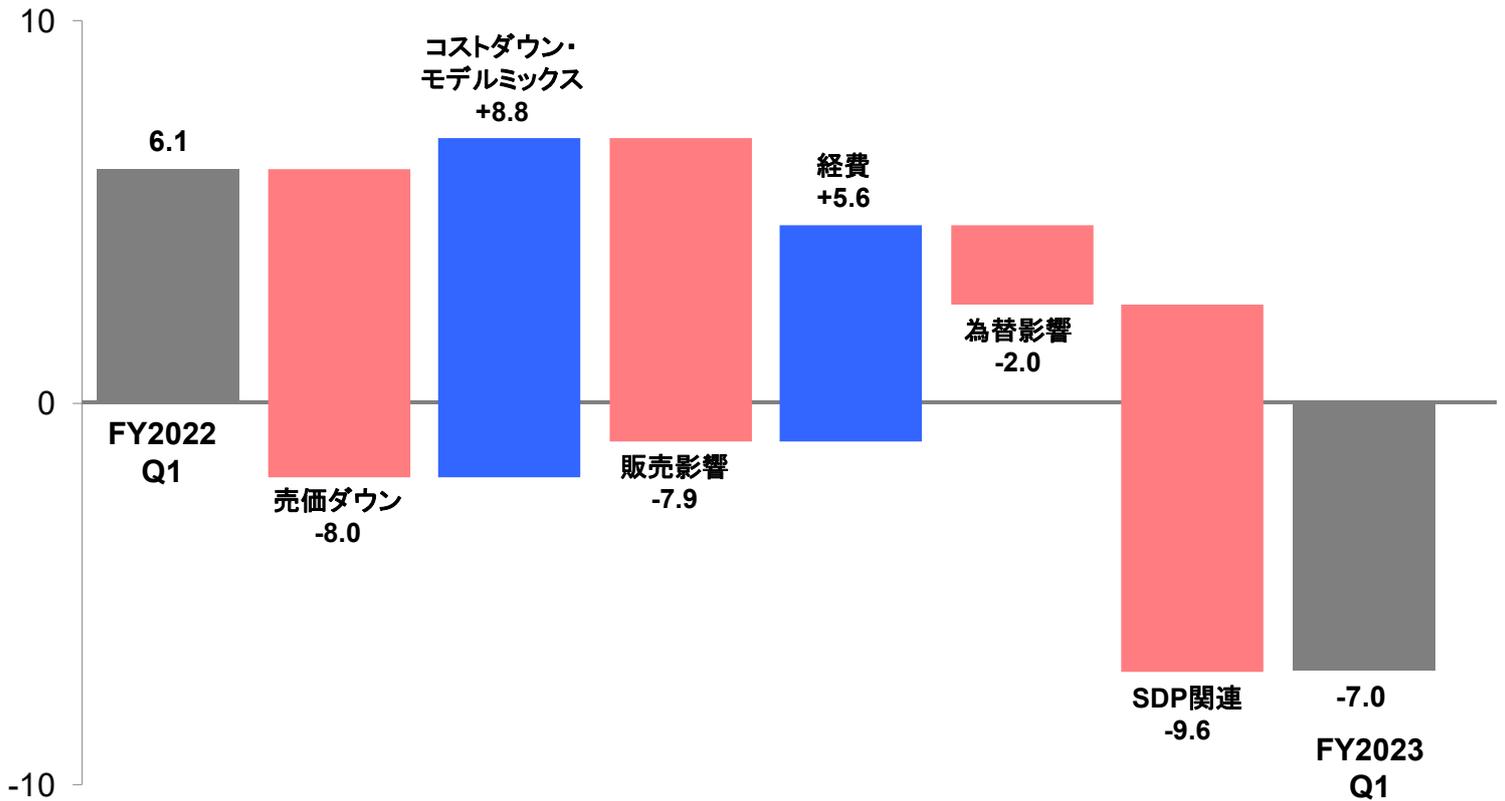
- ・ 次のスライドをご覧ください。2023年度 第1四半期の業績数値です。
- ・ 売上高は、前年同期比 3.7%減の 5,412億円となりました。
- ・ 利益につきましては、
営業利益が、70億円の赤字、
経常利益が、5億円の赤字、
最終利益が、55億円の黒字となりました。

前年同期は下回りましたが、
各利益とも、2022年度 第4四半期から大幅に改善しております。

(第1四半期) 営業利益 要因別増減分析(対前年同期)

(管理会計)

(単位:十億円)



SHARP

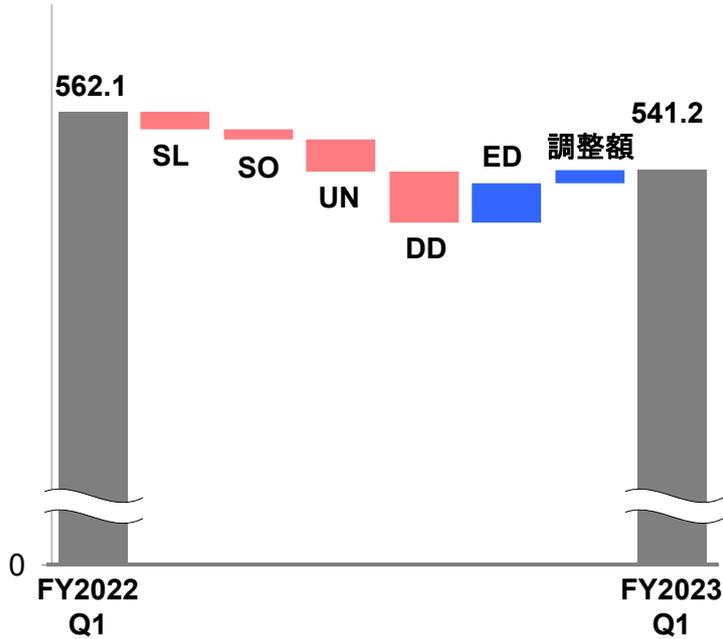
4

- ・ 次のグラフに、2023年度 第1四半期の営業利益の前年同期に対する増減を要因別にまとめておりますので、ご覧ください。

(第1四半期)セグメント別増減分析(対前年同期)

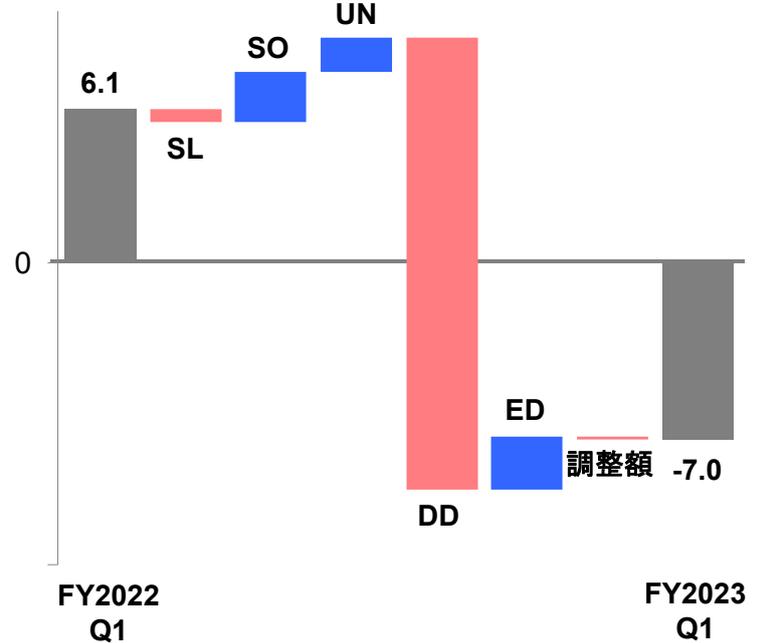
売上高

(単位:十億円)



営業利益

(単位:十億円)



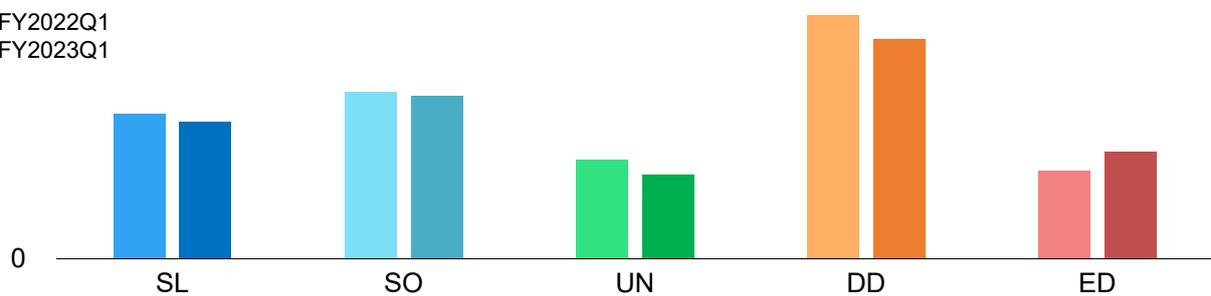
- ・ 次のスライドに、前年同期からの売上高と営業利益の増減をセグメント別にまとめております。

右のグラフでご確認いただけます通り、セグメント別では、ディスプレイデバイスが大きな減益要因となっています。

(第1四半期)セグメント別売上高

(単位:十億円)	2022年度				2023年度	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	前年比
スマートライフ&エナジー	113.2	139.2	113.6	110.6	106.6	-5.8%
スマートオフィス	130.2	151.5	132.6	147.3	126.6	-2.8%
ユニバーサルネットワーク	77.2	86.2	93.7	76.9	65.7	-14.9%
ブランド事業	320.7	376.9	339.9	335.0	299.0	-6.8%
ディスプレイデバイス	189.4	217.1	217.8	135.5	171.3	-9.6%
エレクトロニックデバイス	68.9	118.8	164.4	123.3	83.2	+20.8%
デバイス事業	258.3	336.0	382.2	258.8	254.5	-1.5%
小計	579.1	712.9	722.2	593.8	553.6	-4.4%
調整額	-16.9	-17.1	-13.1	-12.8	-12.3	-
合計	562.1	695.8	709.0	581.0	541.2	-3.7%

左棒：FY2022Q1
右棒：FY2023Q1



SHARP

※セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

- ・ 次は、2023年度 第1四半期のセグメント別 売上高の一覧です。
- ・ ブランド事業の売上高は 前年同期比 6.8%減の 2,990億円、デバイス事業は 1.5%減の 2,545億円となりました。

(第1四半期)セグメント別営業利益

(単位:十億円)	2022年度				2023年度	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	前年比
スマートライフ&エナジー	7.4 (6.6%)	9.9 (7.2%)	6.0 (5.4%)	5.8 (5.3%)	6.9 (6.5%)	-7.1%
スマートオフィス	1.1 (0.9%)	1.3 (0.9%)	2.6 (2.0%)	9.3 (6.4%)	3.1 (2.5%)	+168.8%
ユニバーサルネットワーク	0.3 (0.5%)	-4.6 (-5.3%)	-2.3 (-2.5%)	-1.2 (-1.6%)	1.7 (2.7%)	+378.7%
ブランド事業	8.9 (2.8%)	6.7 (1.8%)	6.4 (1.9%)	13.9 (4.2%)	11.7 (3.9%)	+31.5%
ディスプレイデバイス	0.6 (0.3%)	-14.4 (-6.6%)	-13.6 (-6.3%)	-39.1 (-28.9%)	-17.3 (-10.1%)	-
エレクトロニックデバイス	0.0 (0.0%)	7.4 (6.2%)	5.9 (3.6%)	1.4 (1.2%)	2.0 (2.5%)	-
デバイス事業	0.6 (0.2%)	-6.9 (-2.1%)	-7.7 (-2.0%)	-37.6 (-14.5%)	-15.2 (-6.0%)	-
小計	9.6 (1.7%)	-0.2 (-0.0%)	-1.2 (-0.2%)	-23.6 (-4.0%)	-3.4 (-0.6%)	-
調整額	-3.4	-4.8	-2.2	0.4	-3.6	-
合計	6.1 (1.1%)	-5.0 (-0.7%)	-3.5 (-0.5%)	-23.1 (-4.0%)	-7.0 (-1.3%)	-

左棒：FY2022Q1
右棒：FY2023Q1

※()内の数字は営業利益率です。

SHARP

SL

SO

UN

DD

ED

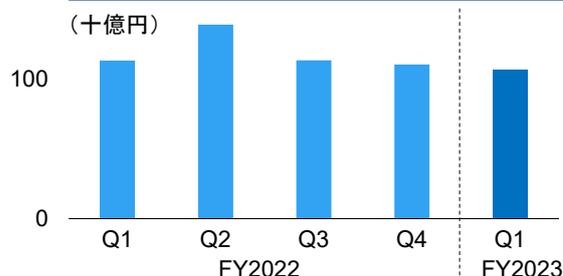
7

- ・ 次のスライドは、セグメント別 営業利益の一覧になります。
- ・ ブランド事業の営業利益は、前年同期比 31.5%増の 117億円となりました。一方、デバイス事業は、前年同期の 6億円の黒字に対し、158億円の減益となり、152億円の赤字となりました。

ディスプレイデバイスのみ赤字となっておりますが、その他の4セグメントについては、黒字となっております。

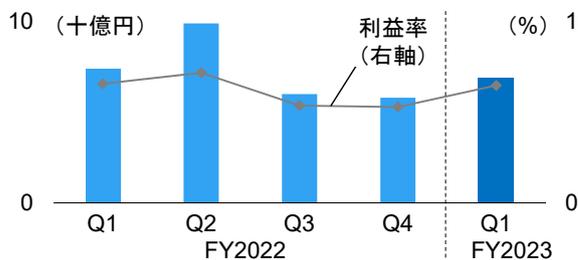
(単位:十億円)	2022年度				2023年度	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	前年比
売上高	113.2	139.2	113.6	110.6	106.6	-5.8%
営業利益 (利益率)	7.4 (6.6%)	9.9 (7.2%)	6.0 (5.4%)	5.8 (5.3%)	6.9 (6.5%)	-7.1%

売上高(減収)



- (減) 市況の影響から、冷蔵庫や調理家電、空気清浄機が前年同期を下回る
- (減) エネルギーソリューション事業は、EPCが減少
- (増) 洗濯機が、国内で大きく伸長し、増収となる
- (増) エアコンが、アジアをはじめ海外で大幅に売上を伸ばす
- (増) エネルギーソリューション事業は、国内の住宅向けが増収となる

営業利益(減益)



- (減) 販売減の影響
- (増) 国内の洗濯機・掃除機をはじめ、各事業で高付加価値化が進展



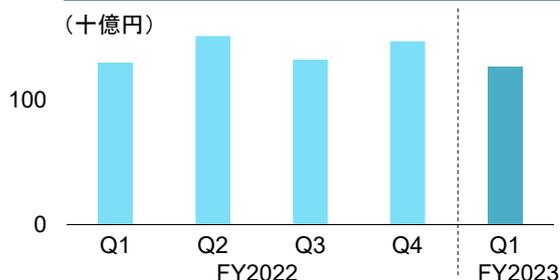
- ・ 次のスライドをご覧ください。セグメント毎の概況になります。まずは、スマートライフ&エナジーです。
- ・ 売上高は、白物家電事業、エネルギーソリューション事業とも減収となり、前年同期比 5.8%減の 1,066億円となりました。

白物家電事業では、市況低迷の影響を受けた冷蔵庫や調理家電、空気清浄機が減収となりました。
一方、高付加価値化が進み国内で大幅に売上を伸ばした洗濯機や、アジアをはじめ海外で大きく伸長したエアコンなどは増収となっています。

エネルギーソリューション事業では、国内の住宅向けが伸長したものの、EPCの売上が前年同期を下回りました。
- ・ 営業利益は、販売減の影響があり、7.1%減の 69億円となりました。ただし、国内の洗濯機をはじめ、各事業で高付加価値化が進展しており、白物家電事業は、増益となっております。

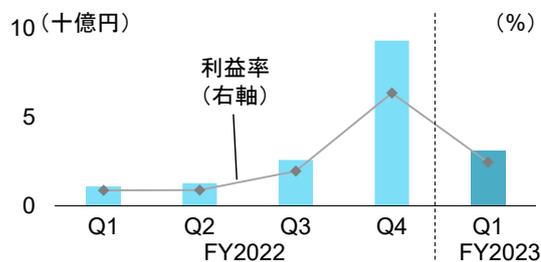
(単位:十億円)	2022年度				2023年度	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	前年比
売上高	130.2	151.5	132.6	147.3	126.6	-2.8%
営業利益 (利益率)	1.1 (0.9%)	1.3 (0.9%)	2.6 (2.0%)	9.3 (6.4%)	3.1 (2.5%)	+168.8%

売上高(減収)



- (減) インフォメーションディスプレイは、価格競争の激化により、減収となる
- (減) PC事業では、構造改革を進め、欧州から撤退
- (増) MFP事業やオフィスソリューション事業は、欧米を中心に引き続き堅調に推移
- (増) PC事業は、教育関連の伸長により、国内B2Bが10%超の増収となる

営業利益(増益)



- (増) 構造改革が進んだPC事業の収益が大きく改善
- (増) オフィスソリューション事業の高付加価値化
- (増) MFP事業の販売増
- (減) インフォメーションディスプレイ事業の販売減



・ 次は、スマートオフィスです。

・ 売上高は、前年同期比 2.8%減の 1,266億円となりました。

ビジネスソリューション事業では、価格競争が激化したインフォメーションディスプレイが減収となったものの、MFP事業やオフィスソリューション事業は、欧米を中心に引き続き 堅調に推移しました。

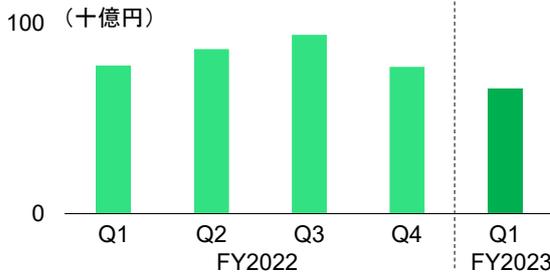
PC事業では、構造改革を進め、欧州から撤退した一方、国内のB2Bが、教育関連などの伸長により、10%を超える増収となりました。

・ 営業利益は、168.8%増の 31億円となりました。

インフォメーションディスプレイ事業が販売減となった影響はあったものの構造改革によりPC事業の収益が大きく改善したこと、オフィスソリューション事業の高付加価値化が進んだこと、MFP事業が増収となったことなどから、増益となっています。

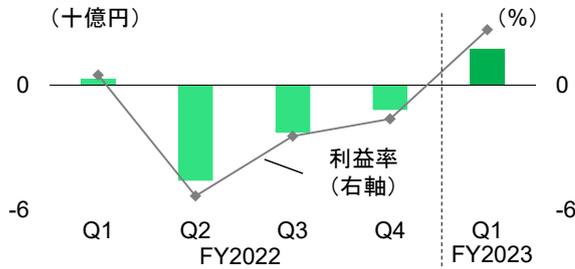
(単位:十億円)	2022年度				2023年度	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	前年比
売上高	77.2	86.2	93.7	76.9	65.7	-14.9%
営業利益	0.3	-4.6	-2.3	-1.2	1.7	+378.7%
(利益率)	(0.5%)	(-5.3%)	(-2.5%)	(-1.6%)	(2.7%)	

売上高(減収)



- (減) テレビ事業では、国内や中国などの市況が悪化
- (減) 通信事業では、国内の需要減速が継続
- (増) テレビ事業では、売価アップや高付加価値モデルの販売が進展
- (増) 通信事業では、フラッグシップスマートフォンの売上が伸長、売価の見直しが進む

営業利益(増益)



- (増) 高付加価値化の進展
- (増) 売価アップ
- (減) 販売減の影響



・ 次のスライドは、ユニバーサルネットワークになります。

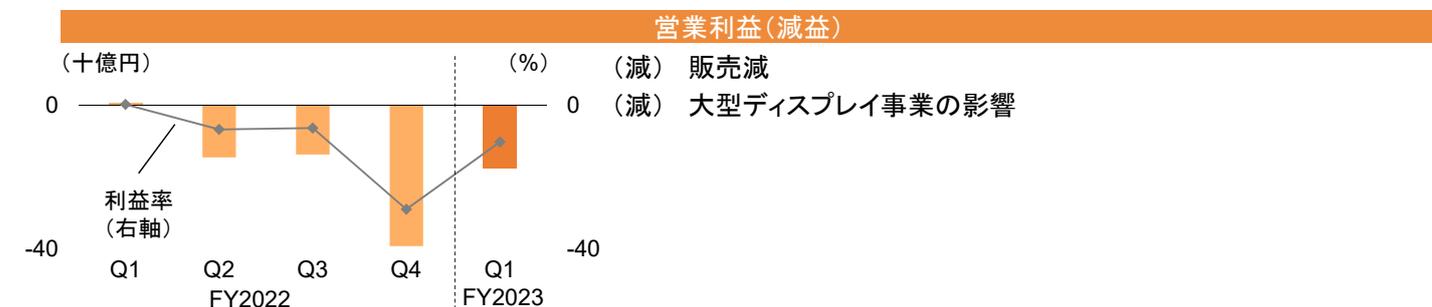
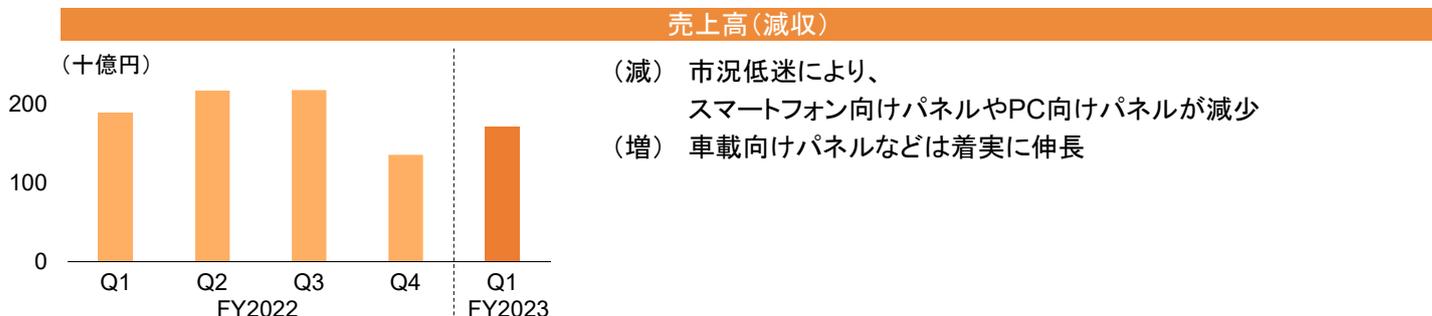
・ 売上高は、テレビ事業、通信事業とも減収となり、前年同期比 14.9%減の 657億円となりました。

テレビ事業は、売価アップや高付加価値モデルの販売が進展したものの、市況が悪化した国内や中国の販売が減少しました。

通信事業は、フラッグシップスマートフォンの売上が伸長し、売価の見直しも進みましたが、国内の需要減速が継続した影響を受けました。

・ 営業利益については、販売は減少したものの、高付加価値化や売価アップが進展したことなどから、378.7%増の 17億円となりました。

(単位:十億円)	2022年度				2023年度	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	前年比
売上高	189.4	217.1	217.8	135.5	171.3	-9.6%
営業利益	0.6	-14.4	-13.6	-39.1	-17.3	-
(利益率)	(0.3%)	(-6.6%)	(-6.3%)	(-28.9%)	(-10.1%)	



・ 次は、ディスプレイデバイスです。

・ 売上高は、前年同期比 9.6%減の 1,713億円となりました。

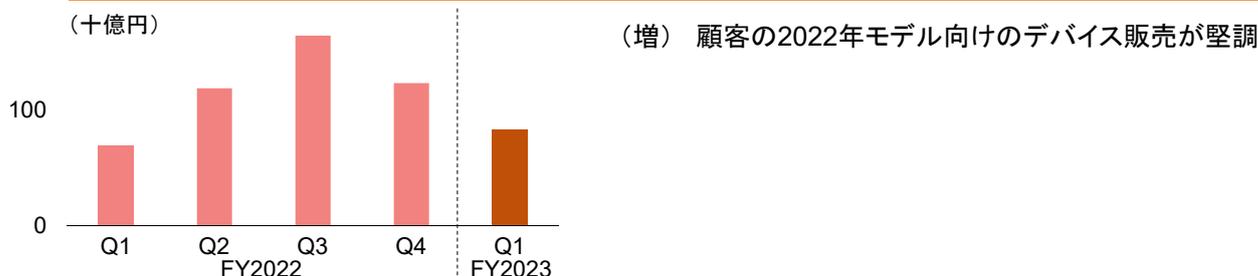
車載向けのパネルなどは大きく伸長しましたが、市況低迷により、スマートフォン向けやPC向けのパネルが減少しました。

・ 営業利益は、減収となったことに加え、大型ディスプレイ事業の影響などもあり前年同期の6億円の黒字に対し、179億円の減益となり173億円の赤字となりました。

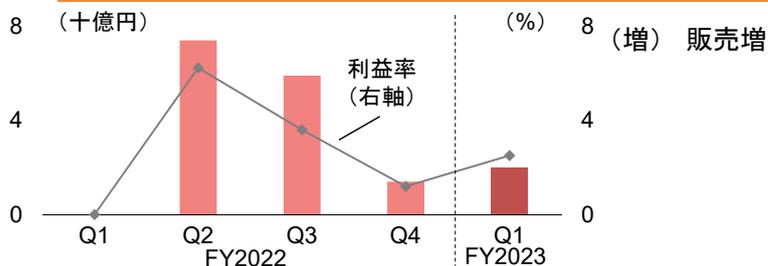
なお、大型ディスプレイ事業は、赤字となりましたが、2022年度 第4四半期に減損処理を行った効果があったこと、引き続き、コスト削減の取り組みを進めていること、市況が回復傾向にあったことなどから、赤字幅は縮小しています。

(単位:十億円)	2022年度				2023年度	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	前年比
売上高	68.9	118.8	164.4	123.3	83.2	+20.8%
営業利益 (利益率)	0.0 (0.0%)	7.4 (6.2%)	5.9 (3.6%)	1.4 (1.2%)	2.0 (2.5%)	-

売上高(増収)



営業利益(増益)



- ・ 次のスライドは、エレクトロニックデバイスになります。
- ・ 売上高は、顧客の2022年モデル向けデバイスの販売が堅調だったことから、前年同期比 20.8%増の 832億円となりました。
- ・ 営業利益は、増収に伴い増益となっており、若干の黒字にとどまった前年同期に対し、20億円の黒字となっています。

営業外損益・特別損益・法人税等の概要

(単位:十億円)

	2022年度				2023年度	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	前年 増減額
営業利益	6.1	-5.0	-3.5	-23.1	-7.0	-13.1
営業外損益	+11.3	-3.1	-7.5	-5.4	+6.5	-4.8
内:支払利息	-0.9	-2.6	-2.9	-2.7	-2.9	-2.0
為替差損益	+13.0	+5.7	-1.1	-0.3	+6.2	-6.8
投資関連収益・費用	+4.1	+1.5	+0.8	+0.2	+0.2	-3.9
持分法による投資損益	-5.1	-6.9	-5.7	-2.5	+1.3	+6.4
経常利益	17.4	-8.2	-11.0	-28.6	-0.5	-17.9
特別損益	+12.2	-1.3	+3.3	-222.7	+9.3	-2.9
内:固定資産売却益	+0.9	+1.0	+4.7	+0.4	+0.5	-0.4
段階取得に係る差益	+12.4	-	-	-	+1.3	-11.1
持分変動利益	+0.2	-	-	-	+4.2	+4.0
債務取崩益	-	-	-	-	+4.8	+4.8
事業構造改革費用	-	-1.0	-0.3	-3.0	-	-
減損損失	-	-	-0.5	-219.9	-1.4	-1.4
訴訟損失引当金繰入額	-1.4	-0.8	+0.2	-0.0	-	+1.4
税前利益	29.6	-9.6	-7.6	-251.4	8.8	-20.8
法人税等 他	-2.7	-7.8	-10.7	-0.4	-3.2	-0.5
最終利益	26.9	-17.4	-18.4	-251.8	5.5	-21.4

SHARP

13

- ・ 次のスライドは、主な「営業外損益」・「特別損益」・「法人税等」の概要です。
- ・ 2023年度 第1四半期には、
営業外利益として「為替差益」、特別利益として「持分変動利益」などを
計上しています。

連結貸借対照表推移

・2023年度 第1四半期末の現預金は 2,090億円、純資産は 2,725億円、自己資本比率は 14.7%となる

(単位:十億円)

	2022年度		2023年度		2022年度		2023年度
	12月末	3月末	6月末		12月末	3月末	6月末
現預金	262.8	262.0	209.0	買掛金等	457.0	371.8	372.3
売掛金等	506.7	438.0	425.6	短期借入金	133.9	163.8	177.7
棚卸資産	357.8	299.3	307.3	1年内社債	0.0	0.0	0.0
その他	91.3	87.6	94.8	その他	359.7	346.7	336.0
流動資産計	1,218.9	1,087.0	1,036.9	流動負債計	950.7	882.5	886.2
有形固定資産	545.4	389.2	395.0	社債	0.0	0.0	0.0
無形固定資産	104.1	35.8	39.9	長期借入金	585.4	542.7	467.0
投資その他資産	264.0	260.7	282.4	その他	121.2	125.3	128.4
固定資産計	913.7	685.8	717.4	固定負債計	706.6	668.0	595.5
資産合計	2,132.6	1,772.9	1,754.3	純資産	475.2	222.3	272.5
				負債純資産合計	2,132.6	1,772.9	1,754.3
期末日レート							
ドル円	131.70	132.54	144.99	自己資本比率	21.6%	11.8%	14.7%
ユーロ円	139.94	144.22	157.56	自己資本	459.8	208.4	258.3

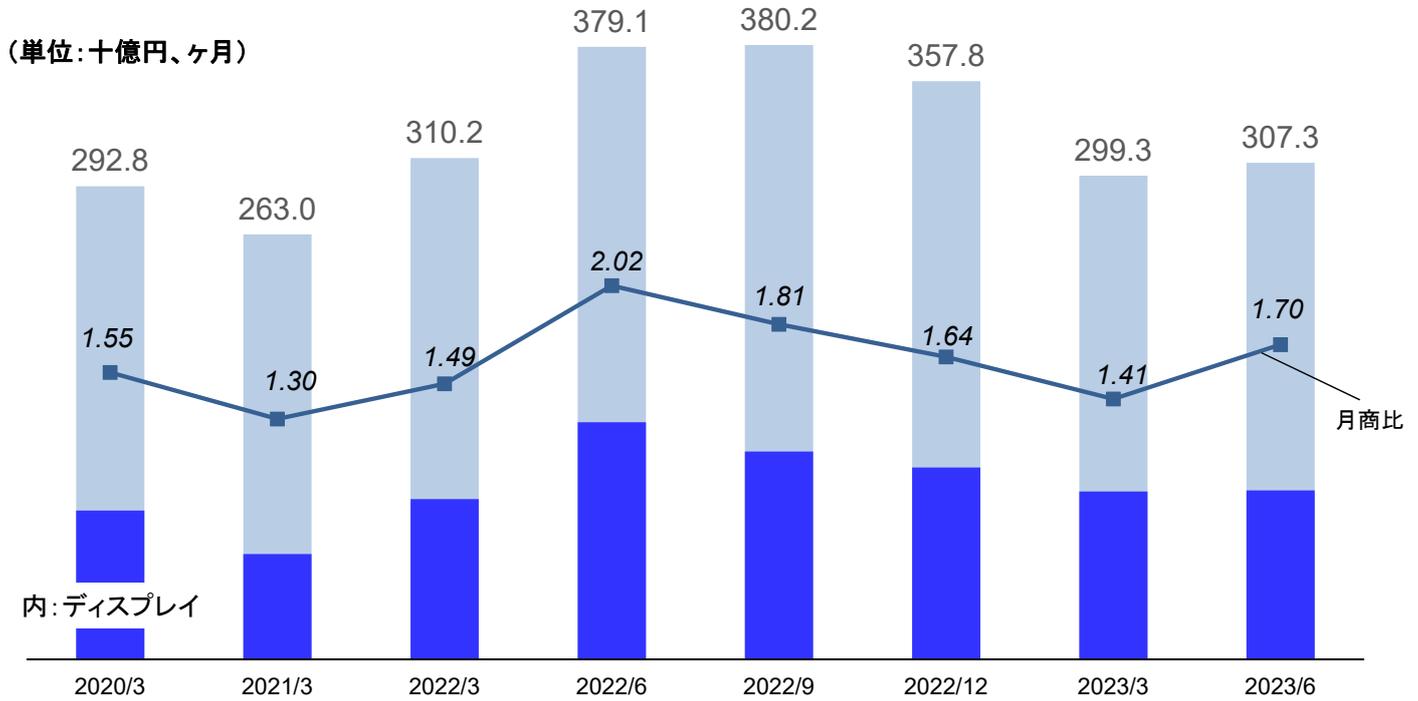
SHARP

14

- ・ 続いては、貸借対照表の推移です。
- ・ 「現預金」は、2023年3月末の 2,620億円に対し、2,090億円に、
「純資産」は 2,223億円に対し、2,725億円に、
「自己資本比率」は 11.8%に対し、14.7%になっております。

棚卸資産の推移

・棚卸資産は、第2四半期以降の販売計画に沿った適正水準



※会計基準の変更があったため、2021/3以前は基準が異なる

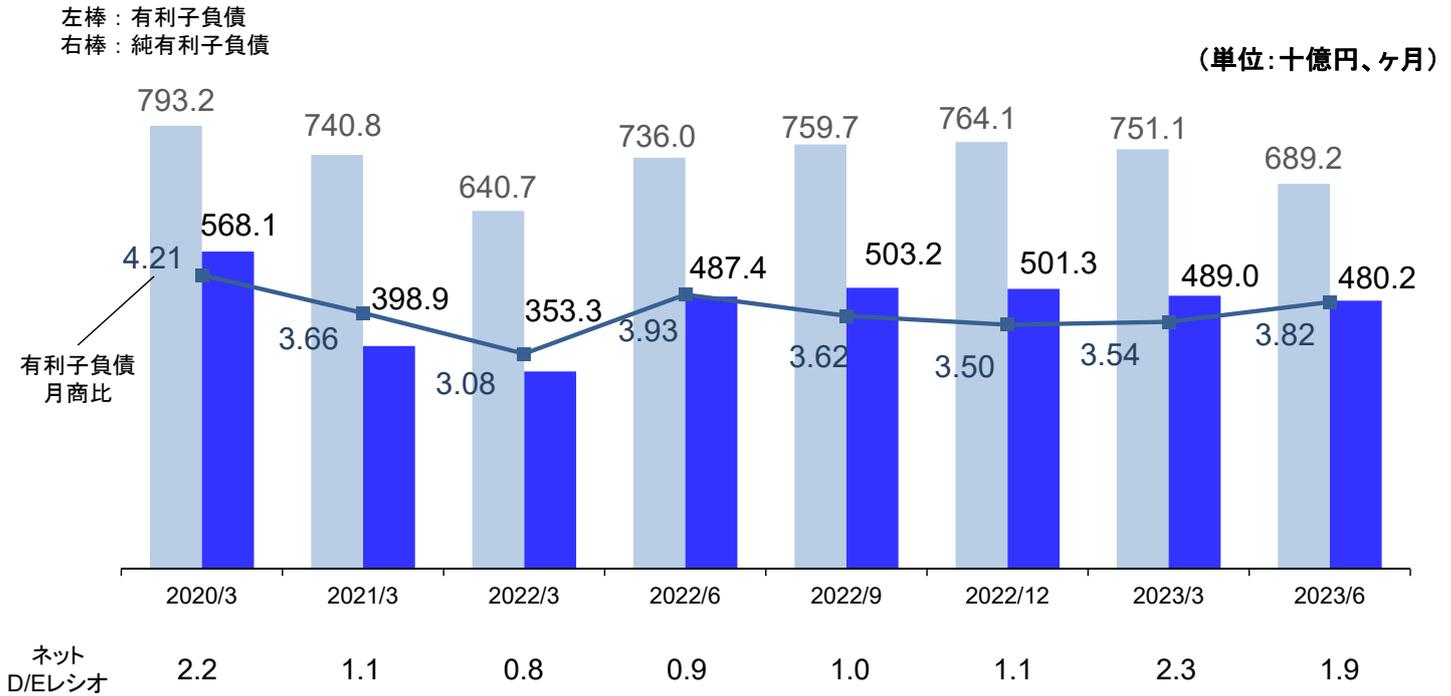
SHARP

15

- ・ 次のスライドをご覧ください。棚卸資産の推移になります。
- ・ 2023年6月末の棚卸資産は、2023年3月末比 80億円増の3,073億円で、第2四半期以降の販売計画に沿った適正水準となっております。
- ・ 今後とも状況の変化を注視し、適正な在庫の管理に努めてまいります。

有利子負債の推移

・運転資金の圧縮に努めたことから、純有利子負債は前年度末の4,890億円から4,802億円まで、88億円改善



SHARP

※純有利子負債：有利子負債 - 現預金

16

- ・ 次のスライドは、有利子負債の推移です。
- ・ 運転資金の圧縮に努めたことから、純有利子負債を前年度末の4,890億円から4,802億円まで、88億円改善させることができました。

Ⅱ. 2023年度 連結業績予想

- ・ 次に、2023年度の連結業績予想です。

2023年度 連結業績予想

・ここまで、業績は想定線で進捗しており、5月11日に公表した数値を据え置く

(単位:十億円)

	2022年度	2023年度	
	通期	通期予想	前年比
売上高	2,548.1	2,560.0	+0.5%
営業利益 (利益率)	-25.7 (-1.0%)	40.0 (1.6%)	-
経常利益 (利益率)	-30.4 (-1.2%)	39.0 (1.5%)	-
最終利益 (利益率)	-260.8 (-10.2%)	10.0 (0.4%)	-
平均為替レート			
ドル円	134.48	135.00	
ユーロ円	139.46	145.00	

SHARP

18

- ・ 次のスライドをご覧ください。
- ・ ここまで、業績は想定線で進捗していることから、
通期の業績予想については5月11日に公表した数値を据え置いております。

今後も非常に厳しい事業環境が継続する見通しにありますが、
全社をあげて開源節流を徹底し、通期の最終黒字の達成をめざしてまいります。

ご清聴ありがとうございました。

Ⅲ. 補足資料

連結業績概要

(単位:十億円)

	2022年度			2023年度
	上期	下期	通期	通期
売上高	1,257.9	1,290.1	2,548.1	2,560.0
営業利益	1.0	-26.7	-25.7	40.0
(利益率)	(0.1%)	(-2.1%)	(-1.0%)	(1.6%)
経常利益	9.2	-39.7	-30.4	39.0
(利益率)	(0.7%)	(-3.1%)	(-1.2%)	(1.5%)
最終利益	9.4	-270.2	-260.8	10.0
(利益率)	(0.8%)	(-21.0%)	(-10.2%)	(0.4%)

SHARP

補足-2

四半期 連結業績概要

(単位:十億円)

	2022年度				2023年度
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
売上高	562.1	695.8	709.0	581.0	541.2
営業利益	6.1	-5.0	-3.5	-23.1	-7.0
(利益率)	(1.1%)	(-0.7%)	(-0.5%)	(-4.0%)	(-1.3%)
経常利益	17.4	-8.2	-11.0	-28.6	-0.5
(利益率)	(3.1%)	(-1.2%)	(-1.6%)	(-4.9%)	(-0.1%)
最終利益	26.9	-17.4	-18.4	-251.8	5.5
(利益率)	(4.8%)	(-2.5%)	(-2.6%)	(-43.3%)	(1.0%)

SHARP

補足-3

セグメント別売上高

(単位:十億円)

	2022年度		
	上期	下期	通期
スマートライフ&エナジー	252.4	224.3	476.8
スマートオフィス	281.7	280.0	561.7
ユニバーサルネットワーク	163.4	170.6	334.1
ブランド事業計	697.7	675.0	1,372.7
ディスプレイデバイス	406.6	353.3	759.9
エレクトロニックデバイス	187.8	287.7	475.5
デバイス事業計	594.4	641.1	1,235.5
小計	1,292.1	1,316.1	2,608.2
調整額	-34.1	-26.0	-60.1
合計	1,257.9	1,290.1	2,548.1

※セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

SHARP

補足-4

セグメント別営業利益

(単位:十億円)

	2022年度		
	上期	下期	通期
スマートライフ&エナジー	17.4 (6.9%)	11.9 (5.3%)	29.3 (6.2%)
スマートオフィス	2.5 (0.9%)	11.9 (4.3%)	14.5 (2.6%)
ユニバーサルネットワーク	-4.2 (-2.6%)	-3.5 (-2.1%)	-7.8 (-2.3%)
ブランド事業計	15.7 (2.3%)	20.3 (3.0%)	36.1 (2.6%)
ディスプレイデバイス	-13.7 (-3.4%)	-52.7 (-14.9%)	-66.4 (-8.7%)
エレクトロニックデバイス	7.4 (3.9%)	7.3 (2.6%)	14.7 (3.1%)
デバイス事業計	-6.3 (-1.1%)	-45.3 (-7.1%)	-51.6 (-4.2%)
小計	9.3 (0.7%)	-24.9 (-1.9%)	-15.5 (-0.6%)
調整額	-8.3	-1.7	-10.1
合計	1.0 (0.1%)	-26.7 (-2.1%)	-25.7 (-1.0%)

※()内の数字は営業利益率です。

SHARP

補足-5

四半期 セグメント別売上高

(単位:十億円)

	2022年度				2023年度
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
スマートライフ&エナジー	113.2	139.2	113.6	110.6	106.6
スマートオフィス	130.2	151.5	132.6	147.3	126.6
ユニバーサルネットワーク	77.2	86.2	93.7	76.9	65.7
ブランド事業計	320.7	376.9	339.9	335.0	299.0
ディスプレイデバイス	189.4	217.1	217.8	135.5	171.3
エレクトロニックデバイス	68.9	118.8	164.4	123.3	83.2
デバイス事業計	258.3	336.0	382.2	258.8	254.5
小計	579.1	712.9	722.2	593.8	553.6
調整額	-16.9	-17.1	-13.1	-12.8	-12.3
合計	562.1	695.8	709.0	581.0	541.2

※セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

SHARP

補足-6

四半期 セグメント別営業利益

(単位:十億円)

	2022年度				2023年度
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
スマートライフ&エナジー	7.4 (6.6%)	9.9 (7.2%)	6.0 (5.4%)	5.8 (5.3%)	6.9 (6.5%)
スマートオフィス	1.1 (0.9%)	1.3 (0.9%)	2.6 (2.0%)	9.3 (6.4%)	3.1 (2.5%)
ユニバーサルネットワーク	0.3 (0.5%)	-4.6 (-5.3%)	-2.3 (-2.5%)	-1.2 (-1.6%)	1.7 (2.7%)
ブランド事業計	8.9 (2.8%)	6.7 (1.8%)	6.4 (1.9%)	13.9 (4.2%)	11.7 (3.9%)
ディスプレイデバイス	0.6 (0.3%)	-14.4 (-6.6%)	-13.6 (-6.3%)	-39.1 (-28.9%)	-17.3 (-10.1%)
エレクトロニックデバイス	0.0 (0.0%)	7.4 (6.2%)	5.9 (3.6%)	1.4 (1.2%)	2.0 (2.5%)
デバイス事業計	0.6 (0.2%)	-6.9 (-2.1%)	-7.7 (-2.0%)	-37.6 (-14.5%)	-15.2 (-6.0%)
小計	9.6 (1.7%)	-0.2 (-0.0%)	-1.2 (-0.2%)	-23.6 (-4.0%)	-3.4 (-0.6%)
調整額	-3.4	-4.8	-2.2	0.4	-3.6
合計	6.1 (1.1%)	-5.0 (-0.7%)	-3.5 (-0.5%)	-23.1 (-4.0%)	-7.0 (-1.3%)

※()内の数字は営業利益率です。

SHARP

補足-7

設備投資・減価償却費等

	(単位:十億円)			
	2022年度			2023年度
	上期	下期	通期	通期
設備投資	20.5	23.9	44.5	60.0
内:ディスプレイ	4.2	9.9	14.2	25.3
減価償却費	38.0	46.2	84.2	65.0
研究開発費	39.9	38.7	78.7	85.0

平均為替レート	(単位:円)			
	2022年度			2023年度
	上期	下期	通期	通期
米ドル	132.98	135.98	134.48	135.00
ユーロ	137.22	141.71	139.46	145.00

四半期 設備投資・減価償却費等

	(単位:十億円)				
	2022年度				2023年度
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
設備投資	5.0	15.5	12.3	11.6	8.9
内:ディスプレイ	0.9	3.3	4.7	5.2	4.0
減価償却費	15.6	22.3	22.9	23.2	14.1
研究開発費	18.7	21.1	20.4	18.3	17.6

平均為替レート	(単位:円)				
	2022年度				2023年度
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
米ドル	128.57	137.38	140.60	131.35	137.37
ユーロ	136.60	137.84	142.81	140.60	149.46

【見通しに関する注意事項】

本資料に記載されている内容には、シャープ株式会社及び連結子会社（以下、総称して「シャープ」という）の計画、戦略、業績など将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は過去または現在の事実ではなく、現時点で入手可能な情報から得られたシャープの仮定や判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスク、不確実性及びその他の要因が内在しています。それらの影響により、シャープの実際の業績、事業活動、財務状況は、これらの見通しと大きく異なる場合があります。また、新たな情報、将来の事象、その他にかかわらず、シャープが将来の見通しに関する記述を見直すとは限りません。なお、業績など実際の結果に影響を与えうるリスク、不確実性及びその他の要因としては、以下のものが挙げられますが、これらに限られるものではありません。

- (1) シャープの事業領域を取り巻く経済情勢
- (2) シャープの製品やサービスの需要動向の変化や価格競争の激化
- (3) 為替相場の変動(特に、米ドル、ユーロ、その他の通貨と円との為替相場)
- (4) 諸外国における貿易規制等の各種規制
- (5) 他社との提携、アライアンスの推進状況
- (6) シャープに対する訴訟その他法的手続き
- (7) 製品やサービスについての急速な技術革新 など

※本資料の記載金額は、億円未満切り捨て表示としています。

※前年増減額等は、表示された億円単位の金額を元に算出しております。

※最終利益(損失)・・・

親会社株主に帰属する当期純利益(損失) または、親会社株主に帰属する四半期純利益(損失)

※開示セグメント及び略号

スマートライフ&エナジー(SL)、スマートオフィス(SO)、ユニバーサルネットワーク(UN)、

ディスプレイデバイス(DD)、エレクトロニックデバイス(ED)

SHARP

SHARP

Be Original.

